

天龍村 ツーフレット

- 1 ブッポウソウ保護活動
- 2 お茶つみ・味わう会
- 3 天龍ヒカヒカ大作戦
- 4 みこし作り・きあい
- 5 ふるさと大好き給食
- 6 おやす・しめなわ・もちつき大会



天龍小学校四年生

ブポウソウ保護活動

天龍小では、毎年ブポウソウというわたり鳥の保護活動をしています。かんざつなどのいろいろな活動がある中で一番代表的なのは「巣箱作り」「巣箱内調査」です。

巣箱作り

ブポウソウが住めるように全校で巣箱を作ります。くぎやネジを使って、ブポウソウがケガをしないよう、やすりでけずたりして、ブポウソウが安心して住めるようがんばって作っています。

ブポウソウは、せつめつぎの鳥たちです。



完成した巣箱



巣箱はくぎで組立てる。

巣箱調査

巣箱の中には他にも⇒貝がら、ガラスハチの巣が入っている事がある。



巣箱をせちして七ヶ月ほどたつと、せちした巣箱をはおして、中をさしみます。巣箱の中にはたくさんのおしぎな物が入っていて、今年は一円玉の入っている巣箱もありました。



最後に

このように天龍小学校ではブポウソウの保護活動をしています。他の人も少しブポウソウの事を知ってくださると嬉しいです。



ブポウソウの色は黒、白、青の4種類。

お茶つみ・味わう会

し終えた茶葉を食べます。これも、味わう会の楽しみの一つです。

私たちの学校にはお茶の木があります。五月に育ったお茶の葉を全校でつみします。お茶つみでは、よい点二つあります。

一つ目は、自分たちでお茶の葉をつむことができることです。はんごつに分かれて、三つの畑や場所から茶の葉をつみします。茶葉は、一芯三葉といつて、一つの芯に葉が三枚ついているものを取ります。



お茶ができるまで

- ①茶つみ
- ②てもみ(いろいろなもみ方で茶葉の水分をとばす。)
- ③かんそう(細長くたのよつにした茶葉をかかす。)
- ④完成



二つ目は、つんだ葉を自分たちでもんで、かんそうをさせて、その日の午後に味わうことができることです。温湯の温度を変えて、お茶を出

感想

天龍村でしか味わえないお茶を作る事ができて、楽しいし、うれしいです。ぜひ、飲んでみてください。

みこしづくり みこしきおい祭り

天龍村には、10月に満島神社秋祭りが
あります。毎年二日祭りがあり、
最後の日にみこしをかつぎます。
今年も、天龍小学校から二つのチ
ームができました。一つは、『10龍』、
二つ目は、『かがやくつばさ』です。

『10龍』

作っている写真

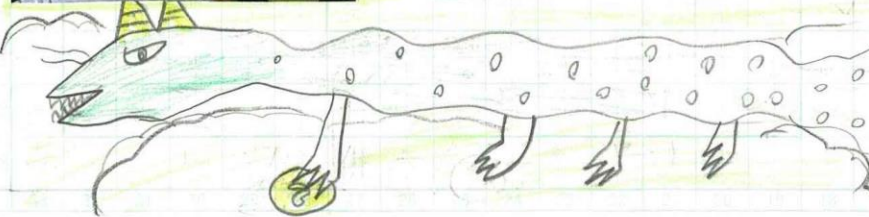


ミニをこうして

かついでいる写真



わっしょいどんど



『かがやくつばさ』

かついでいる写真



わっしょいどんど

がんばで作ってるの



作っている写真

みこしきおい祭り・みこしづくり

- 良い点①... みこしきおい祭りのために楽しく・協力してできること。
- 良い点②... 自分たちで作ったみこしをかつぐ楽しさ。
- 良い点③... みこしをかついでからの賞じょうをもらう、うれしさ。

まとめ

ただみこしをかついでいるのではなく、自分たちのみこしを発表するためにみこしきおい祭りをやっている。

感想

みこし作りをやってからかついで賞じょうをもらうのが一組一枚あって感しゃないといけなれと分かった。これからは、感しゃしてみこし作り、みこしきおい祭りをやりたいです。

ふるさと

大好き給食

ふるさと大好き給食は、11月にあります。今年、29日にありました。

ふるさと大好き給食では、よい点が二つあります。

一つ目は、給食を全校、調理委員のみなさん、地いきの人といっしょに話し合いながら食べられることです。みんなと食べると給食がもっとおいしくなりました。



四年生が五平もちを作っているところ。



ほとんどの食材が天にま龍村産なので、さらさらおいしい給食になりました。



地いきの人や学校のみなさんと仲良しはんに分かちあいたいっしょに食べたい様子。



感想



二つ目は、五年生が作ってくれたお米で五平もちを作れることです。

ぼくは、みんなといっしょに給食を食べたいっもの給食よりおいしく感じられました。

おやすしめなわもちつき大会

この大会は毎年12月に行っています。
 この大会には地いきの人たちとおやすしめなわを作る楽しさと、村の人たちとおもちを食する楽しみがなります。



五年生が作ってくれたお米でおもちを作ります。重しきねでうすの中に入っているおもちをたたくのはかんたんそうに見えるが、とてもむずかしいです。

おもちには三年生が作ってくれたきなこをまぶして食べます。他にもとん汁などが出ておいしいです。それに地いきの人たちも多量に食べてくれるので、とても楽しいです。

たん当の地いきのちにしめなわを作るには、作り方を教えてもらいます。作り方は、まずおらを14本用意して、その下の部分をいじり、六本がフにかけます。その内の二本を二本に、その二本をおじり、二本目は同じようにおじり、おじった三本目は三本目のおじった間に入れてしめなわの完成です。

しめなわと同じように、たん当の地いきのちにしめなわを作るには、作り方を教えてもらいます。作り方は、まずおらを14本用意して、次に昔のおらを折って、折ったおらを下に持って来て、横に出ているおらにもう一本おらを付け、最初と同じ重しきねで、最後に三つをおもてしめなわの完成です。



感想

このように地いきの人々や友だちと

ちとおやすしめなわを作ったりも出たりと、来る事は他の学校ではあまり出来ないから、こういう機会があったとしても良かったと思います。